

1. 教育の責任

次の担当授業および学生指導において、ことばと文化に対する探求心と考察力を促し、思考の多様性と柔軟性、豊かな想像力を持つ人材に育てていくことを日頃の教育の目標にしています。

- ・春学期：「韓国語Ⅰ」「韓国語演習Ⅰ」「アジアの文化に親しむ」「キャリアデザインⅢ」「ゼミナールⅠ」
「異文化コミュニケーション特論Ⅱ」
- ・秋学期：「韓国語Ⅱ」「韓国語演習Ⅱ」「アジアの文化に親しむ」「比較文化の基礎」「韓国の社会と文化」
「日本文化・アジア文化研究」「映画とドラマで学ぶ韓国言語文化」
「キャリアデザインⅣ」「ゼミナールⅡ」
- ・通年：「卒業研究」

2. 教育の理念

様々な社会現象が非常に速いスピードで変貌していく時代において、偏見や固定観念にとらわれず柔軟な思考と多様な視点で物事を見つめ判断していく力はとても重要で、そのような素養を持つ若者が多方面で求められています。とはいえ、幼少期から慣れ親しんできた習慣や感覚の壁は高く、直面する課題や選択の瞬間において常に議論やリスクを回避しようとする安定志向の若者が多いと日々実感しています。

学生たちが四年間の学びを通して、一歩ずつ自分のハードルを乗り越え、問題の解決に挑む勇気とチャレンジ精神を持つ若者に成長していくことを期待しており、それがまさに自分自身の教育の理念につながっています。

3. 教育の方法

授業や学生指導において、自分自身の教育目標と理念に沿った指導と発信ができるよう、自分の発想や感性を常に柔軟に保ち、時代の変化を直視し考察していくことを心掛けています。また日々の授業や課題提供を通して、学生たちの思考力と行動力、柔軟性と創造性を引き出せるよう努めています。

具体的には、自分の主な教育分野である東アジアと韓国の言語文化の授業や学習に際して、そのような教育目標に近付けるよう日々工夫しながら指導を行っています。とりわけ隣国の社会や文化、言語に対する知識や理解を深めることにより、異文化間における比較対照や相互理解の力を養うと同時に、日本社会の特性や課題についても考察し客観的に捉える素養を育てています。

例えば、漢江の奇跡といわれ急成長してきた現代韓国の経済と社会の変遷について学びながら、その背景にあった政治的な開発独裁、それに立ち向かった学生や市民の民主化運動に関しても学習し考察することで、躍動的な韓国の市民社会や大衆文化のダイナミズムの原点について迫っていくことができます。

学習の出発点は、各々の学生たちが関心や興味を持っている分野からで良く、その切り口は実に多種多様です。韓国の伝統文化や食文化、社会や地域研究、経済やIT、若者のスタートアップ、韓国語と方言、さらにはK-POP、K-DRAMA、K-MOVIE、K-FASHIONなど、近年アジアを超え世界を駆け巡っている韓国の大衆文化を題材にして学習や研究を進めることもできます。

とりわけゼミナールや卒業研究においては、2年間培ってきた韓国語の能力を活かし、国内の文献のみならず原文の資料も参照しながら各自のテーマに対する知識と理解を深めていきます。またゼミ生同士のチームワークやコミュニケーション能力を高めるため、グループ作業で文献の解読を行い、TOPIKやハングル能力試験の問題を解いていくと同時に、各自の実力に応じた検定試験にも随時チャレンジさせています。

担当する全授業を通して、学生たちは韓国語の運用能力を高めつつ、ことばと文化の接点について探究し、韓国の文化と社会に対する総合的な理解を深めながら、常に柔軟な発想と想像力を持って、自分自身の可能性や日本の社会と文化についても考察できるよう指導しています。

4. 教育の成果

韓国語関連の授業では、「初めてハングルの仕組みを知り、少しずつ読めるようになってきた」「電車や街角のハングル表記を読むのが楽しい」「韓国の留学生と韓国語でコミュニケーションできた」「次のハングル検定試験にチャレンジしたい」「TOPIK3 級に合格でき嬉しかった」「オール韓国語でのプレゼンは準備が大変だったけど、とても充実した経験になった」「さらに勉強を頑張って韓国留学にチャレンジしたい」などの意見が寄せられています。

また文化関連の授業では、「文化の多様性について知ることができた」「アジアは広くて実に多彩な文化がある」「日本と韓国の文化の類似点や相違点について学ぶことができた」「韓国社会のダイナミズムについて考えるきっかけになった」「今まで K-POP とはあまり縁がなかったがいろいろ聴いてみたくなった」「韓国の映画はテーマが幅広く、演技力がすごい」「物事を柔軟にとらえることの重要性がわかった」などの意見がありました。

韓国語や文化の学習を通して、勉強の楽しさ、前向きな姿勢、柔軟な発想、チャレンジ精神が少しずつ育まれている様子をうかがうことができました。

5. 改善への努力と今後の目標

- ・学生たちがさらに前向きな姿勢で積極的に勉強に取り組めるよう工夫し促していきたい。
- ・ハングル検定試験や TOPIK に勇気を持ってチャレンジする学生をもっと増やしていきたい。
- ・留学生との交流の場をさらに増やして、学生たちがもっと自信を持ってコミュニケーションできるように促したい。
- ・急速に変貌していく様々な社会現象をもっと迅速に、多角的な視点で教え伝えていくことを心掛けたい。それによって、学生たちが自分の未来を自ら考え、課題を解決していける力を少しでも育めるようにしていきたいと思います。

【添付資料】

担当科目のシラバス（UNIVERSAL PASSPORT を参照）